

「水墨画を描いてみよう！-2」

表現 図画工作・美術 伝統・文化



- ・実施日 令和元年6月29日（火）
- ・実施校 墨田区立 第二寺島小学校 6年生
- ・講師 末永重一氏と墨田区水墨画協会指導員の方
- ・内容
 - ① 水墨画の特徴の説明、お手本を提示〈水墨画の基本・表現方法などについて学ぶ〉
 - ② 制作スタート〈絵手本などを参考にしながら自由に描いてみる〉
 - ③ 作品の合評〈・こんな気持ちで描きました ・その作品のいいところは？〉今回は実施できず



【生徒の感想文から】

- ・先生が見本を描いているところを見て、簡単そうだなと思いましたが、体験すると難しさが分かりました。
- ・水墨画は初めてでした。授業を通して、筆の使い方、その物に見せるように絵をぼけさせるなどその工夫に感心しました。また書き方が分からない私にも優しく教えて下さって本当にありがとうございました。
- ・最初書けるかどうか不安でしたが、優しく教えて下さったのでうまく書けました。また室町時代から今の現代まで受け継がれているとのこと、勉強になりました。
- ・実際に体験をしてみて工夫して絵を描いたりするのが楽しかった。習字とは違い墨の色を調整したり、筆の毛先を変えることもできました。身の回りにあるものを使って形を変えたり影をつくったりなどの工夫をすることで、一人一人の個性が生まれたと思います。水墨画は家でもできるのでいつか挑戦してみたい。
- ・僕は水墨画が初体験でした。練習ではうまく書けなかったが、水墨画の先生に「あきらめないで頑張る」との言葉で本番では「自分のペースで書け」との言葉で、世界に一つだけの自分の水墨画ができました。
- ・心に残ったことが、一つは色の加減です。もう一つが書き方です。先生から最初書こうとしたときに「落ち着きなさい」と言われ、心が落ち着き、結果自分でも納得できる水墨画となりました。
- ・予想をはるかに超えるくらい難しかった。でも自分の書き方で満足する絵になったので良かった。これから水墨画に興味を持ち、やっていこうと思いました。
- ・水墨画は墨1色だけの濃さで書くので、プロでもリアルに書けないと思っていました。でも1色だけで山や空をまるで写真のように書いてあるので驚きました。
- ・勉強している室町時代の文化の一つ、水墨画を教えてくれてありがとうございました。水墨画を広めた雪舟になった感じでした。良い絵も描けました、ありがとうございました。

【コーディネーターから】

- ・「筆立てる」「筆の水を切る」「筆を絞る」等専門的な言葉を子供達が理解できるよう実践されていた。